

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
中区わんわんパトロール事業				中区役所自治推進課			
事業目的		事業内容		活動指標	R4	R5	R6
区民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざして、地域住民自らがパトロールグッズを携帯して犬の散歩を行うことで、防犯意識の向上及び犯罪の抑止を図る。		飼い犬の狂犬病予防注射を行っている区民を対象に協力者を募集し、登録者にパトロールグッズを配布する。区民フェスタでの啓発活動や区役所のパネル展示のほか、動物病院の利用者等に対して広報活動を行い、登録者の増加をめざす。		新規登録件数	3件	3件	15件
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	本事業は中区全体における防犯意識の向上を目的としており、その啓発効果は区全域に還元されることから、高い公益性を有している。このため、当該事業を区が実施することは妥当である。	○	企画立案や制度周知は行政、実施主体は区民と役割を分担しており、お互いが補完しながら取り組む事業であるため協働の度合いは高い。	○	全ての区民が気軽に参加できる「ながら防犯」は、その参加活動のハードルの低さから地域活動の担い手不足の解消にも資する取組であり、他区において同様の事例がないことからインパクトのある取組である。	○	わんわんパトロールは、犬の散歩に防犯活動を組み込む「ながら防犯」により、無理なく継続でき、人的・時間的資源を有効に活用できる取組。地域に類似の活動がないため、資源の重複を避けられ、行政と区民の役割分担によりコスト負担も少なく、効率性が高い。
⑤自立発展性		総合評価					
○	本事業への登録はあくまできっかけであり、防犯活動を行う主体である区民個々が主体的に行動することで事業効果も高まるため、自立発展性は高い。	○	地域の安全・安心と区民の自主防犯意識の向上に寄与するだけでなく、各区民が自身のペースで気軽に活動できるため、参加へのハードルが低く、地域活動の担い手不足の解消にも資する取組であることから、事業効果は高い。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	一人でも多くの方に参加していただくことで事業効果が高まるため、積極的に広報活動を展開し、登録者数の増加をめざす。						